

専任教員教育研究業績

平成 29 年 4 月 1 日

氏名	ふりがな	所属	職 位	性別
牧野 環	まきの たまき	保育学科 通信教育課程	教授・准教授・講師・ 助教	男・女

担 当 科 目 名

音楽表現 IA、音楽表現 IB

学 歴

和暦(西暦)年 月	事 項	学位
昭和 55 (1980) 年 4 月	国立音楽大学 音楽学部 音楽教育学科Ⅱ類(リトミック)専攻 入学	
昭和 56 (1981) 年 3 月	同学中退 (1 年履修)	
昭和 56 (1981) 年 4 月	お茶の水女子大学 文教育楽部教育学科 音楽教育学専攻 入 学	
昭和 60 (1985) 年 3 月	お茶の水女子大学 文教育楽部教育学科 音楽教育学専攻 卒 業	学士(教育)
平成 4 (1992) 年 4 月	桐朋学園大学 音楽学部 聴講生として「音楽療法」「古楽実習」 を科目履修	
平成 4 (1992) 年 8 月	Innsbrück Sommerakademie für alte Musik Cembalo Meister Kurse インスブルック夏期古楽アカデミー・チェンバロ・マイ スターコース 修了	
平成 19 (2007) 年 4 月 ～平成 25 (2013) 年 3 月	東京基督教大学 オルガン・コース(個人レッスン)及び声楽コ ース(個人レッスン)を科目履修	
平成 21(2009) 年 4 月	立教大学大学院 キリスト教学研究科 キリスト教学専攻博士 前期課程ウィリアムズコース(教会音楽分野) 入学	
平成 22(2010) 年 3 月	立教大学大学院 キリスト教学研究科 キリスト教学専攻博士 前期課程ウィリアムズコース(教会音楽分野) 修了	修士(実践神学)

教 育 歴 ・ 職 歴

名 称	期 間	教育内容又は業務内容
千葉県我孫子市立我孫子中学校	昭和 60 年 4 月～昭和 61 年 3 月	常勤講師 音楽の指導、学級副担任
千葉県立安房拓心高校	昭和 61 年 4 月～昭和 63 年 3 月	教諭 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」「現代社会」担当、吹奏楽部指導、学級担任
千葉県立東葛飾高校	昭和 63 年 4 月～平成 2 年 3 月	非常勤講師 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」「音楽Ⅲ」担当
京都府立山城高校	平成 16 年 9 月～平成 17 年 3 月	常勤講師 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」「音楽Ⅲ」担当、吹奏楽部指導
東京都北区立王子小学校(他)	平成 16 年 5 月～平成 27 年 3 月	講師 音楽、算数の指導、合唱部指導、生活指導、学校行事全般(他)
お茶の水女子大学附属小学校	平成 18 年 10 月～平成 19 年 3 月	非常勤講師 「生活科学科」担当
立教大学文学部	平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月	ティーチング・アシスタント Steven Morgan 准教授による「教会音楽史」の授業補助
立教女学院中学校・高等学校	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月	非常勤講師 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」担当
小田原短期大学保育学	平成 28 年 4 月～現在	特任講師 「音楽表現 IA」「音楽表現 IB」担当

科通信教育課程					
所 属 学 会 等					
名 称		活動期間		活動内容 (役職等の活動を含む)	
立教大学教会音楽研究所		平成 18 年 10 月～現在		大会参加	
日本オルガン研究会		平成 19 年 4 月～現在		大会参加	
日本音楽学会		平成 24 年 6 月～現在		大会参加、口頭発表、平成 24 年度国際研究奨励金受給	
The Gregorian Institute of Canada カナダ・グレゴリオ聖歌学会		平成 25 年 2 月～現在		大会参加、口頭発表	
キリスト教礼拝音楽学会		平成 28 年 4 月～現在		大会参加	
社 会 活 動 等					
名 称		活動期間		活 動 内 容	
日本フィルハーモニー合唱団		昭和 57 年 1 月～8 月		合唱活動 「昭和 57 年 6 月 日本フィルハーモニー定期演奏会 ヴェルディ・レクイエム」に出演	
鍋島元子主宰古楽研究会 Origo et Practica		昭和 57 年 5 月～平成 10 年 3 月		会員として、チェンバロ演奏及び通奏低音奏法 (アンサンブル) についての学びと演奏活動	
ピアノ教室主宰		昭和 57 年 2 月～平成 15 年 3 月		自宅にて、ピアノ・ソルフェージュの個人レッスン・グループレッスンを幼児から音大受験生までに行う。	
聖路加国際大学聖ルカ礼拝堂		平成 4 年 12 月～平成 19 年 12 月		聖歌隊の活動参加、礼拝での奏楽	
取手キリスト教会		平成 4 年 5 月～平成 10 年 3 月		礼拝でのオルガン・チェンバロの奏楽 (随時)	
「チェンバロ・サロンコンサート」主宰		平成 4 年 7 月～10 年 11 月		自宅にて、チェンバロの演奏会を年 1 回連続開催。	
日本聖公会千住基督教会オルガニスト		平成 19 年 2 月～平成 27 年 12 月		礼拝でのパイプ・オルガン奏楽 (月 1～2 回)	
日本聖公会京都聖アグネス教会オルガニスト		平成 25 年 3 月～現在		英語礼拝でのパイプ・オルガン奏楽 (月 2 回)	
担 当 教 科 目 に 関 す る 資 格 ・ 免 許 等					
名 称		取得年月		取 得 機 関	
高等学校教諭二級普通免許状 (音楽)		昭和 60 年 3 月		東京都教育委員会	
中学校教諭一級普通免許状 (音楽)		昭和 60 年 3 月		東京都教育委員会	
研 究 実 績 に 関 す る 事 項					
代表的な著書、論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概 要
(学術論文) 1. 「Thomas Tallis のアンセムの研		単著	平成 24 年 5 月	立教大学教会音楽研究所発行	トマス・タリス Thomas Tallis (c1505-1585) は、英国国教会創成期に活躍したイングランドの王

究」(修士論文)			『2011年度立教大学教会音楽研究所報 RICM MUSICA SACRA 第2号』 pp. 43-98.	室礼拝堂付音楽家である。イングランドにおける宗教改革を概観した後、タリスの作曲したアンセム(礼拝用楽曲)9曲を楽曲分析した。宗教改革により、礼拝と礼拝用声楽曲は、ラテン語から英語に転換した他、さまざまな変化があった。宗教改革以前のラテン語モテトは長いメリスマを持ち、華美でポリフォニックであった。一方、宗教改革後に作られたアンセムは、英国国教会の最高権威であるカンタベリー大主教トマス・克蘭マーThomas Cranmerの指示通り、一音節一音符のルールがみられ、簡素でホモフォニックである。
2. 研究ノート「保育者養成校における音楽テスト『伴奏形に関する考察』の実施と結果」	単著	平成29年4月	『小田原短期大学研究紀要第47号』 pp.179-191.	音楽テスト「伴奏形に関する考察」を自ら作成し、小田原短期大学通信教育課程におけるスクーリング生を対象に、「音楽表現I A」「音楽表現I B」の授業の中で行った。このテストは、曲にふさわしい伴奏形を、4つのパターンの中から、音楽を聴いて、被験者に選ばせるものである。テストの結果、この音楽テストでよい成績を上げた者は、「音楽表現I」の授業の成績もよい、という相関関係があった。
(その他・学会発表) 1. 「Thomas Tallisの英語作品にみられるone note one syllable rule—英国国教会の礼拝音楽における宗教改革」	単独	平成24年11月	日本音楽学会第63回全国大会 於 西本願寺	トマス・タリスの典礼用声楽作品のうち、ヘンリーHenry朝とエドワードEdward朝の、英語作品とラテン語作品の分析を行い、両者を比較した。1534年、ヘンリー8世の統治下において、イングランドは、カトリックから国教会に転換した。礼拝用の声楽曲もその影響を受け、カトリック用のラテン語作品には長いメリスマが、国教会用の英語作品には、一音節一音符のルールがみられる。また英語作品には、宗教改革の影響が顕著にみられる。ここに、音楽の上での宗教改革を見ることができる。
2. “ Thomas Tallis’ s Cantus Firmus Paraphrase Technique—A Means of Enriching Catholic Culture During the Reign of Mary I “	単独	平成25年8月	8 th Annual Colloquium of the Gregorian Institute of Canada 第8回カナダ・グレゴリオ聖歌学会 University of British Columbia (Vancouver) 於 ブリティッシュ・コロンビア大学(バンクーバー)	トマス・タリスの典礼用声楽作品のうち、メアリーMary朝までの作品についての定旋律技法の研究を行った。分析に当たっては、カナダ・グレゴリオ聖歌学会が、インターネット上で掲載している、10,000ページに及ぶセーラム典礼書The Sarum Riteに記載されているセーラム聖歌(グレゴリオ聖歌のイングランドにおける地方聖歌)を主に使用した。タリスの定旋律技法は、10通りのパターンに分類できた。セーラム聖歌を自ら歌いながら発表した。 (日本音楽学会より「平成24年度国際研究奨励金」受給)
3. 「トマス・タリスのメアリー朝までの典礼用声楽作品における定旋律技法」	単独	平成25年11月	日本音楽学会第64回全国大会 於 慶応義塾大学	トマス・タリスの典礼用声楽作品のうち、メアリー朝までのものについての定旋律技法の研究を行った。今回は、エドガー・H・スパークスEdgar H Sparksの定旋律技法の分類法に沿って、独自の視点も加味し、新たな分類を試みた。その結果、定旋律技法と歌詞との間に関連性を見出した。即

				ち、「栄唱」（三位一体の神への賛美）と聖母マリアへの祈りにおいて、厳格定旋律（聖歌を忠実に再現）となっているのである。セーラム聖歌とグレゴリオ聖歌を自ら歌いながら発表した。
(その他・演奏) 1.千住基督教会クリスマス・コンサート	共同	平成27年12月	千住基督教会（東京都荒川区）	クリスマスにちなんだ作品や聖歌のアレンジ作品を、共演者1人と、パイプ・オルガンで演奏した。
2.「おだたんクリスマス・コンサート（学内コンサート）」の企画・演奏	共同	平成28年12月	大阪こども専門学校保育ルーム	1. キーボード演奏（牧野） クリスマスにちなんだ作品4曲を、キーボードで独奏した。本学講師の協力で、曲に合わせて、絵を上映した。 2. 朗読劇「ヘンデルとグレーテル」（牧野構成） 歌とキーボード演奏、朗読による(牧野)。本学講師による打楽器演奏も入れた。本学講師の協力で、ストーリーに合わせて、絵を上映した。
3.「千住基督教会クリスマス・コンサート」の企画・演奏	共同	平成28年12月	千住基督教会（東京都荒川区）	1. 朗読劇「ヘンデルとグレーテル」（牧野構成） 歌（合唱含む）とパイプ・オルガン演奏（連弾含む）を入れて行った。教会員の協力で、ストーリーに合わせて、絵を上映した。 パイプ・オルガン独奏＝牧野、朗読と連弾のオルガン＝教会員、合唱＝教会員（3名） 2. パイプ・オルガン演奏（牧野） クリスマスにちなんだ作品4曲を、パイプ・オルガンで独奏した。教会員の協力で、曲に合わせて、絵を上映した。
その他 (表彰等)	山口県学生音楽コンクールピアノ部門 小学校5年の部第一位			毎日新聞社・山口県教育委員会・山口県音楽教育連盟主催